

自分がもし
避難所生活をする事になったら・・・。



とみおか
アーカイブ・
ミュージアム
企画展

「震災遺産を考える 2024」 ～ビッグパレットふくしま避難所を考える #1～

会期 2024年 3月9日(土)～5月26日(日) 9:00～17:00(最終入館16:30) 入館無料

会場 とみおかアーカイブ・ミュージアム



The Historical Archive Museum of Tomioka

東日本大震災直後、東京電力福島第一原子力発電所事故により富岡町・川内村をはじめ様々な市町村からの避難者が身を寄せたビッグパレットふくしま(BPF)避難所。福島県内最大級の避難所は、避難者にとってどのような場所だったのか…。支援しようと集った人たちは、何を感じ、何を思い、いかに動いたのか。その時、行政は…。

来場者一人ひとりに「避難所で暮らすことになったとしたら…」「自分が大規模避難所のスタッフになったとしたら…」を考えるきっかけにしていきたい企画展シリーズの第1弾。

避難所の当時の様子を一部再現するほか、避難所の変遷・富岡町役場郡山出張所の誕生など、当時の様子を写真パネルなどで振り返ります。

2011年3月16日、富岡町と川内村の合同災害対策本部はたくさんの町村民とともにBPFに身を寄せました。以来、5ヶ月半にわたり避難者を受け入れた県内最大級の避難所。医療機関、ボランティアセンター、子どもの遊び場、図書館、交番、ラジオ局……「ビッグパレット村」と呼ばれるほど、様々な機能を有しました。

今回の展示では、来場された皆さんの避難所生活経験談や、「もし自分だったらこうする」というアイデアなど皆さんの声を募集します。会場の用紙にご記入ください。



◆東京方面から

- ・東京駅→JR常磐線特急ひたち利用(約3時間)→富岡駅→
- ・東京駅→高速バス利用(約4時間20分)→富岡営業所→
- ・常磐自動車道経由一般道利用(約3時間15分)→

◆仙台方面から

- ・仙台駅→JR常磐線特急ひたち利用(約1時間30分)→富岡駅→
- ・常磐自動車道経由一般道利用(約1時間40分)→

◆いわき方面から

- ・いわき駅→JR常磐線利用(約40分)→富岡駅→
- ・いわき駅前→新常磐交通バス利用(約1時間10分)→富岡駅前→

◆富岡駅から当館まで(一般道約2.3km)

- ・タクシーまたは循環バス利用(約5分)

とみおかアーカイブ・ミュージアム

とみおかアーカイブ・ミュージアム

〒979-1192 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚760番地の1 [TEL]0240-25-8644 [休館]月曜(祝日の場合は翌平日)

 とみおかアーカイブ・ミュージアム
公式 Facebook



 とみおかアーカイブ・ミュージアム
公式 Instagram

